



現地に出向き 視て 聴いて 感じて 考えよう! -「2026連合鳥取平和学習会」を実施-

9月11日(金)~12日(土)、「2026連合鳥取平和学習会」を開催しました。連合鳥取役職員16人(うち女性6人・女性参画率40%)が、広島県にある戦跡などを訪問して現地学習しました。

【1日目】

竹原市の大久野島に渡り「毒ガス資料館」を訪問し、戦時中に大久野島で極秘に作られた毒ガス生成施設の実態を学習しました。



毒ガス資料館の展示



島内の長浦毒ガス貯蔵庫跡

当時、軍事機密として大久野島の存在を地図上から抹消され、労働者にも何を作っているのか知らされることなく施設を拡大し、島全体が毒ガス生成施設として利用されていました。資料館には当時の物品や写真が展示されていて、戦時中に日本軍が何をしていたのか、また、何をしようとしていたのか学習することができました。

その後、呉市にある「大和ミュージアム」を見学して1日目を終えました。



【2日目】

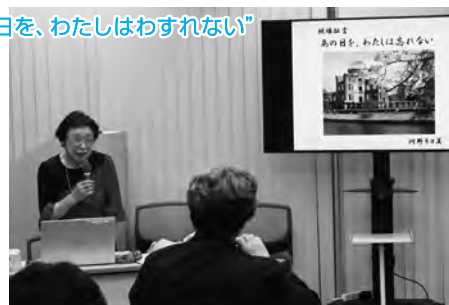
「平和記念資料館(広島市)」の見学と、実際に被爆された方の講話を聴かせていただき、改めて原爆の恐ろしさを学びました。



写真左／
平和記念資料館の
展示より



広島で実際に起きていたことを聴き、
熱心に学習する参加者



その後、2班に分かれて広島平和公園をボランティアガイドのお二人に説明していただきながらフィールドワークを行いました。

この学習会を通して、「毒ガス資料館」で学んだことや、語り部さんから「広島・長崎に空爆がされなかったのはアメリカが原爆の威力を試すためだった」と聞かされ、まだまだ知らない事実があることを学ぶことができました。



【フィールドワーク】 参加者全員で平和を願い「平和の鐘」を鳴らした

10月3日から鳥取県の地域別最低賃金は

チェックしよう!



連合鳥取2026年度「セーフティネットワーク集会」を開催



開会あいさつ／北畑会長

9月1日(火)、「セーフティネットワーク集会」を米子王子紙業株式会社で開催し、専従役員・執行委員を中心に12人が参加しました。

初めに、北畑仁史会長があいさつを行い、米子王子紙業株式会社の山脇耕一取締役よりあいさつをいただきました。

その後、会社概要についてDVDを視聴し、米子王子紙業労働組合の遠藤尚志副委員長、高田佳治書記長の案内で工場見学を行い、「安全への取り組み」などを視しました。

研修会には、米子王子紙業株式会社の社員12人にも参加していただき、鳥取労働局労働基準部健康安全課の半田謙一地方産業安全専門官より「労働安全衛生法改正のポイントについて」説明と解説をしていただきました。質疑応答の後、細砂直副会長がまとめのあいさつを行い、「セーフティネットワーク集会」を終えました。

写真上(左)／山脇取締役
(右)／紙パ連合役員のみなさん写真右／「研修会」の様子
(写真上)講師／
半田地方産業安全専門官

「2027年度政策・制度要求」鳥取労働局へ要請行動!

9月16日(水)、連合鳥取「2027年度政策・制度要求」を鳥取労働局へ提出いたしました。

初めに、北畑仁史会長から山下禎博労働局長へ要請書手交を行い、河村正之事務局長から要請項目の主旨説明を行いました。

その後、山下禎博労働局長より所見をいただき、意見交換を行いました。

山下労働局長(左)に要請書を手交する
北畑会長(右)

意見交換の様子

【主要要請項目】

- ・取引の適正の実現に向けて
- ・地域のニーズに合った職業能力開発機会の充実
- ・労働行政の強化
- ・外国人労働者が安心して働くことのできる環境の整備について
- ・地域における高齢者の就労促進
- ・真にセーフティーネット機能を果たすことができる法定最低賃金制度の確立
- ・差別禁止と人権擁護政策の推進について
- ・ジェンダー平等の視点に立った社会制度・慣行の見直し

UAゼンセン「北朝鮮による拉致被害者支援学習会・街頭署名活動」を実施! ー連合鳥取からも参加ー

学習会で特定失踪者問題調査会の
荒木代表による講演の様子

9月6日(日)、ホテルセントパレス倉吉(倉吉市)において、北朝鮮による拉致被害者学習会を開催し、6組合12人と連合鳥取から6人が参加しました。

学習会では、特定失踪者問題調査会代表の荒木和博さんを講師に招き、「知ろう!考えよう!そして行動しよう!」をテーマに講演いただきました。拉致問題の現状や課題について学び、理解を深めました。

学習会終了後は場所を移動し、これまで天候不順でなかなか開催できなかった街頭署名活動を3年ぶりに行いました。通行人の方々へ呼びかけを行い、署名とカンパにご協力をいただきました。

今後も拉致問題への理解促進と早期解決に向けた取り組みを継続し、拉致被害者全員の一刻も早い帰国を願っています。
(寄稿 UAゼンセン鳥取県支部)



3年ぶりの街頭署名活動をおこなった参加者のみなさん

「令和8年熊本地震」 連合救援ボランティアに 連合鳥取から2人参加

7月28日(火)に発生した「令和8年熊本地震」により、熊本の各地で甚大な被害が生じています。

地震災害によって亡くなられた方々のご冥福を謹んでお祈り申し上げるとともに、被災されたみなさまに心からのお見舞いを申し上げます。

9月11日(金)～19日(土)にかけて、安藤光平副事務局長と寺田真里副事務局長が、連合中国ブロックの代表として被災地へ赴き、「令和8年熊本地震連合救援ボランティア(第2クール)」の事務局業務に従事いたしました。

現地では、全国から駆けつけた多くの仲間が円滑に活動できるよう、宿泊場所での受け入れ準備、食事対応、ボランティア隊の送迎など、運営面の各種支援を行いました。

実際に現場へ向かうボランティアのみなさんを安全に送り出し、全員が滞りなく作業に専念できる環境を整えることは、被災地の迅速な復旧を確実に前進させるために不可欠な役割であると強く実感いたしました。個々の現場作業を確かな運営で支え抜いた経験を通じて、組織における入念な事前準備と、仲間同士の確固たるチームワークの重要性を改めて深く学ぶ機会となりました。

今回の活動で得た貴重な運営ノウハウや現地の実情は、連合鳥取へ確実に還元し、県内における防災体制の再構築や、有事の際の迅速な初動対応に活かしてまいります。

今後も、被災された皆様の想いに寄り添い、熊本の一日も早い復興を願いながら、労働組合の助け合いの精神のもと、継続的な支援活動を推進してまいります。



東部地協発

ボランティア&社会貢献活動に参加

「2026 自然環境保全活動」 鳥取砂丘ボランティア除草を実施

8月30日(日)、「2026自然環境保全活動」として、早朝から坂野経三郎鳥取県議会議員を含め94人のみなさんに参加いただき、鳥取砂丘の除草作業を行いました。



大橋良輔議長のあいさつの後、鳥取砂丘事務局の方の案内で作業場所へ移動し、除草作業を行いました。

広大な砂丘全体から見ればわずかな範囲ではありますが、こうした活動を多くのボランティア団体が継続していくことで「美しい鳥取砂丘」が守られています。東部地協としても微力ながらこの活動を継続していきたいと思います。

今回、天候が不安定の中、昨年よりも多くの方にご参加いただき感謝申し上げます。



9月13日(日)、「鳥取さわやか車いすマラソン&湖山池ハーフマラソン大会」が、ヤマタスポーツパーク陸上競技場で開催されました。

東部地域協議会から、大橋良輔議長、湖山実副議長、山下浩二事務局長が参加し、駐車場にて障がい者介助・誘導を行いました。

昨年は雷雨のため中止となりましたが、今年度は天候にも恵まれ多くの市民ランナーが参加し汗を流していました。

東部地協としても微力ではありますが、地域貢献活動として今後も協力していきたいと思っています。



「第38回鳥取さわやか車いす& 湖山池マラソン大会」ボランティア活動に参加

■ 平和特集 (フォトニュース) ■



「北方四島学習会」/
根室市総合文化会館



「竹島の領土確立
北方領土返還!」
チラシ配布

平和行動in根室【9月5日～6日:5人参加】

9月5日(土)～6日(日)に開催された「2026平和行動in根室」に連合鳥取から松本善樹副事務局長他4人(JAM・UAゼンセン・事務局)が参加しました。

【5日/北方四島学習会】

全国から464人が参加し、A・B・Cコースに分かれて北方領土問題について学習しました。鳥取の参加者はCコースに参加しました。

◇Cコース(計231名)/根室市総合文化会館

- 内容 (1)「北方領土をめぐるこれまでの議論と北方領土根室研究会のこれまでの取り組みについて」
講師 久保こころさん(北海道立根室高等学校北方領土根室研究会)
(2)映画「ジョバンニの島」上映

【6日/2026平和ノサップ集会】

納沙布岬・望郷の岬公園で「集会」が行われ、719人が参加しました。集会の前段には、連合中国ブロック各県からの参加者で「竹島の領土確立・北方領土返還!」運動の一環としてチラシ配布を行いました。



平和ノサップ集会会場にて

Information

※詳しくは、連合鳥取事務局へお問い合わせください。

連合鳥取「第34回定期大会」

■日 時 2026年11月19日(木)
13時00分開会

■場 所 エースバック未来中心
小ホール

■議 事

▶報告事項

- ①2026年度一般活動報告
- ②2026年度会計決算報告
- ③2026年度会計監査報告
- ④2026年度剰余金処分(案)

▶議 案

- ①第1号議案
2026・2027年度運動方針の補強(案)について
- ②第2号議案
2027年度予算(案)について
- ③第3号議案 役員選挙(補充)
- ④第4号議案 その他

※産別を通じて案内しています

“ザ・議員”

み の は ら み ゆ り 蓑原 美百合 北栄町議会議員

9月議会で二つ質問しました。

- ①「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」に基づき、関係課の連携、本人の声を生かす施策・社会参加、学校・社会教育の充実について質問。

→町長・教育長は「連携体制や交流の場を生かし、共に暮らす視点で学びを充実する」と答弁しました。

- ②地域の意思決定の場への女性参画状況、参加しにくい要因、県の支援制度、次期計画について質問。

→町長は「固定的性別役割分担や家事・育児・介護の偏り、役員負担を課題とし、女性役員比率の指標設定と負担軽減を進める」と答弁しました。

今後も誰もが尊厳を持ち、自分らしく暮らせる地域をめざして取り組みます。

以前にも増して連合のみなさまのご支援をお願いいたします!



北栄町「みんなで学んで話彩や」
(2026.7.25)

な が つ か ひ ろ の ぶ 長束 博信 南部町議会議員

今年1月6日の鳥根県東部を震源地として鳥取県西部で強い揺れを感じた地震、7月28日の九州熊本地震、8月13～14日の千葉豪雨、そして8月下旬の北陸豪雨など立て続けに自然災害が頻発し、多数の犠牲者も出ています。

このような状況に鑑み、私は9月議会で「防災と福祉」を取り上げました。住民の命・財産・生活を守る取組みで、特に避難行動要支援者に関して普段から助け合える地域の環境づくりについて、行政の取り組みや情報の共有を問いました。

「災害時には行政、社会福祉協議会、民生委員、地域などが情報共有を図る」との町長答弁でした。

要支援者の漏れが起こらない地域づくりに私も取り組みます。



「解放月間」での啓発
(米子駅前)

貴方に「推し」はいるだろうか。俳優やアーティスト、ゲーム、アニメのキャラクター、更には鉄道などのジャンルは数限りなく存在する。それらを様々な形で応援する事を「推し活」と呼び、今や社会現象になっていくと推しのイメージカラーを推したのイメージカラーを入れた服装や髪型、グッズで武装し、ライブやイベント会場に現れる人々の姿は何処か勇ましい。そして近年では政治家までもをアイドルのように支持する、所謂ファンダム政治が見せているのだ。▼有権者は感情的思考に重きを置くため、アンチや政治家自身の不祥事には目を向けない。急速に発達したSNS内で発信される情報を多数で共有拡散し、推している感覚を楽しむという極めて危険な支持活動であるが、その反面政治的無関心な有権者に興味を持たせ、選挙へと向かわせる偉業も成し遂げている。▼今後の選挙戦での影響を危惧されているが、推し活が日本を変える日、いのちも遠くはなれない。ひまわり

てんてんてんてん



再生紙を使用しています